

# 小学校第5学年 社会科（食育）学習指導案

日 時 令和2年6月25日（木）第5校時  
指導学級 徳島市新町小学校 第5学年 16名  
指導者 学 級 担 任

## 1 小单元名 米づくりのさかんな地域

## 2 小单元設定の理由

本学級の児童は、何事にも意欲的に取り組み、様々なものに興味をもっている。総合的な学習の時間で種籾の観察を行った時には、大きさや形に注目するだけでなく、手触りや匂いなどにも着目し、いつも自分が食べているお米との違いを実感していた。食に関しては、「食べる」ことを楽しみにしている児童が多い。昨年度社会科「ごみのゆくえ」で「食品ロス」について学習していることから、好き嫌いをせずに食べる児童が多く、主菜や副菜の残食は少ない。一方で、日本人の主食であるご飯の残食が多いという課題がある。また、本校は市の中心部に位置しているため、地域に田や畑がなく、子どもたちが身近に感じられる機会が少ない。そのため、食料生産における過程での苦労や努力などに多くの児童は気づいていない。

本小单元では、食料生産に関わる人々の工夫や努力により、私たちの食生活が支えられているということについて考える。米は日本人の主食であるが、近年、稲作農家数や農業に関わる仕事をする人の減少が著しい。その原因として、食の多様化による米の消費量や作付面積の減少、後継者不足などが考えられる。米づくりに関わる人々は、それぞれに思いや願いをもち、それぞれの地域の自然条件に合わせて、おいしく、安心・安全なお米が食べられるように工夫や努力をしている。それには、食料生産に関わる人々のどのような思いや願いがあるのかについても考えさせる。統計資料や地図などの資料から、生産の工程、人々の協力関係、技術力の向上、輸送、価格や費用などに着目して、米づくりに関わる人々の工夫や努力を捉え、これからの食生活について考えることができるように指導したい。

米づくりは、縄文時代から現代まで親しまれてきた食文化であり、日本人の食生活から切り離すことができない食べ物である。普段当たり前前に食べているお米が、様々な工夫や努力によって生産されていることを知ることで、食のありがたさに気づき、これからの食生活を見直すことができるのではないかと考える。児童自身も総合的な学習の時間で「米づくり体験」を行い、食料を生産することの難しさに気づき、知識としてだけでなく、実体験として感じられるようにする。授業後、「食料の生産に関わっている人々に感謝して食べたい」「農家の人々の思いや願いを大切にしたい」などの感想がでるような取り組みにしたい。

## 3 小单元の目標

○農業に関わる人々の工夫や努力を捉え、今後の農業の発展や自分たちの食生活について考えることができるようにする。

#### 4 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稲の種類や分布，生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用，生産量の変化などについて，地図帳や統計などで調べて，稲作の概要や稲作に関わる人々の工夫や努力を理解している。</li> <li>・ 稲作は自然条件を生かして営まれることや，稲作に関わる人々は生産性や品質を高める努力をしたり輸送方法や販売方法を工夫したりして，良質な食料を消費地に届ける等，食料生産を支えていることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稲の種類や分布，生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用，生産量の変化などに着目して，問いを見いだし，稲作の概要や稲作に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。</li> <li>・ 稲作の変化と，稲作に関わる人々の工夫や努力とを関連づけて，それらの人々の働きを考えたり，学習したことをもとにこれからの稲作の発展について考えたりして，適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 我が国の稲作について，予想や学習計画を立てたり，見通したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。</li> <li>・ 学習したことをもとにこれからの稲作の発展について考えようとしている。</li> </ul>

#### 5 食育の視点

- 食生活は，生産者を始め多くの人々の工夫や努力に支えられていることに気づき，食料の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。【感謝の心】

#### 6 小単元の指導計画（学習指導・学習評価の計画）総時数 11 時間

時	ねらい	○学習活動	◎資料 ◆評価
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ 調べる	新潟県南魚沼市で米づくりがさかんな理由にせまるため，米づくりについて調べたいことを話し合い，学習課題を見出し，それに対する予想を考え，学習計画を立てる。	<p>○自分たちが家庭で食べている米は，どこで生産されているのかに着目する。</p> <p>○南魚沼市の自然条件や土地利用の特色について調べ，気づいたことや疑問を整理し，学習問題を立てる。</p>	<p>◎各地域の米袋や米袋の写真</p> <p>◎日本地図（白地図）</p> <p>◆南魚沼市の米づくりについて調べたいことを整理し，学習問題をつくり，表現している。</p>
米づくりのさかんな地域では，人々がどのような工夫や努力をして米を生産しているのだろう。			
③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ 調べる	1年間の米づくりの作業の流れに着目するとともに，米づくりに携わる人がどのような工夫や努力をし，米を生産しているのかを調べ，理解する。	<p>○JA バンク補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を参考に，1年間の米づくりについてまとめる。</p> <p>○米づくりの作業の工夫について，南魚沼市の農家を例にした資料をもとに調べ，農家の人たちが気をつけていることについて話し合う。</p>	<p>◎JA バンク補助教材「農業とわたしたちの暮らし」</p> <p>◆米の収穫までに様々な作業があることや天候や土地の状態が影響することを理解している。</p> <p>◆農家の人たちが，様々な工夫や技術を取り入れて，安全や環境に配慮した米づくりをしていることを捉える。</p>

		<p>○昔と比べて、米作りが改善されてきたことを複数の資料から読み取り、作業時間が減った理由を予想する。</p> <p>○米づくりの作業や耕地の変化の様子について調べ、分かったことを整理する。</p> <p>○資料をもとに、米の流通の流れについて順を追って調べ、分かったことを整理する。</p>	<p>◆昔より時間をかけずに多くの米を生産できるようになった理由について、根拠をもって予想し、表現している。</p> <p>◎Google earth「南魚沼市」</p> <p>◆短い労働時間で多くの米を生産するための、様々な工夫や努力について捉えている。</p> <p>◆米の流通の流れや、そこに関わる人々の働き、米の値段に含まれる費用について、資料から的確に読み取っている。</p>
⑧ 本 時 ま と め る	<p>これまでに学習したことを関連図にまとめ、今後の食生活について考える。</p>	<p>○これまで学習したことを関連図にまとめる。</p> <p>○なぜそのような工夫や努力をしているのか考える。</p> <p>○これからの食生活について考える。</p>	<p>◎関連図</p> <p>◆米づくりの工夫や努力についてまとめることができる。</p> <p>◆食料生産に関わる人の思いや願いに気づき、感謝して食べようとする気持ちをもつことができる。</p>
⑨ ⑩ ⑪ 深 め る	<p>日本が現在抱えている課題に着目し、その解決のための取り組み例を各種資料から見つけるとともに、生産者や消費者の視点で多角的に考え、これからの米づくりについて考える。</p>	<p>○米の消費量と生産量の変化や、それに伴う動きについて複数の資料から調べ、日本の米づくりが抱える課題について考える。</p> <p>○米づくりが抱える課題ごとに、解決のための取り組みの例を各種資料から見つけ、米づくりに関わる人々の思いについて話し合う。</p> <p>○米づくりに関わる人々の工夫や努力について表などに整理して、これからの米づくりに関する各自の考えを発表する。</p>	<p>◎課題に関する資料</p> <p>◆米の生産量や消費量の低下など、米づくりの現状には、課題があることを捉えている。</p> <p>◆米づくりに関わる人たちが課題を乗り越え、地域での生産を続けていけるよう様々な工夫や努力をしていることを捉える。</p> <p>◆米づくりにおける様々な変化や課題、それに関連する人々の工夫や努力など調べたことを総合して、米づくりを進めるうえで、大切なことを考え、適切に表現している。</p>

## 7 本時の学習（8/11時）

### （1）目標

米づくりに関わる人々の工夫や努力についてまとめ、食糧生産に関わる人々に感謝して食べようとする気持ちをもつことができる。

### （2）展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
5分	○ 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。	・ 米づくりの工夫や努力について振り返る。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     米づくりに関わる人々の工夫や努力についてまとめ、これからの食生活を考えよう。                 </div>			
10分	○ 工夫や努力を関連図にかいてまとめる。	・ 工夫や努力をすることでどのようなよさがあるのか具体的にまとめる。	◎ 米づくりの工夫や努力についてまとめることができる。（行動観察）
20分	○ 米づくりに関わる人々の思いや願いについて話し合い。	・ これまでの学習をもとに、苦労や努力をしてまで、なぜ米づくりを続けるのかについて考える。	
10分	○ これからの食生活について考える。	・ 米づくりに関わる人々の思いや願いを踏まえ、これからの食生活について考えるよう留意する。	◎ 食料生産に関わる人の思いや願いに気づき、感謝して食べようとする気持ちをもつことができる。 （ワークシート/発言）

## 8 他教科との関連

第5学年 総合的な学習の時間「米づくり体験活動」